

会 議 記 録			
会議の名称	決算特別委員会 環境市民厚生分科会	会議場所	全員協議会室
		担当職員	小野
日 時	令和5年8月9日（水曜日）	開 議	午前 11時 10 分
		閉 議	午前 11時 40 分
出席委員	◎大塚 ○富谷 大石 土岐 梅本 平本 西口 （欠席：大西）		
事務局	井上事務局長、小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

1 開会

2 事務事業評価対象事業の選定

<大塚委員長>

事務事業評価対象事業の選定方法について、事務局から説明を。

[事務局主任説明]

<大塚委員長>

前回の分科会で、各委員に対象事業の抽出をお願いした。今回は、各委員が事前に抽出した内容を記載した資料を配付しているので、その資料に基づき、各委員から抽出した理由、論点とされたい点などを報告願う。まず初めに私から提案させていただくが、休日診療事業特別会計のうち一般事務費について、亀岡市休日急病診療所では、レセプトや診療報酬明細書の作成をいまだに手作業で行っている。手作業で書類を作成することは間違いのもとになり、事務効率の悪さにもつながるため、どのような対策を行っているのか確認したい。

<富谷副委員長>

こども未来部の13ページ、母子保健事業経費について、核家族化や地域コミュニティの希薄化などの時代背景がある中で、妊娠時から伴走的支援の充実が求められている。今年度、本委員会では東京都小金井市で育児支援ヘルパーの行政視察を行ったが、そこで学んだ内容などを今後の市の事業に生かしていただくためにも産後ケアやパパママ教室、育児相談など、伴走的な支援の現状や経過などを確認したい。

<大塚委員長>

本日欠席している大西委員の抽出内容について、事務局から報告していただく。

<事務局主任>

大西委員から抽出された内容と選定理由を事前に伺っており、委員長の許可

を得て代わりに説明させていただく。環境先進都市推進部の14ページ、桜塚工場運転管理経費については、世界に誇れる環境先進都市・亀岡市として、現在の予算額で適切にごみの処理が行えているのか評価をしたい。2点目は、健康福祉部の11ページ、障がい者福祉サービス事業経費について、国の規定に基づいて実施されている事業が多いと思うが、障がい者にとって十分にサービスが行われているのか評価したいと伺っている。

<大石委員>

健康福祉部の5ページ、社会的孤立防止対策事業経費について、現在、ひきこもり対策については、関係機関が一体となって取り組んでいこうという機運が高まっているが、相談支援や居場所づくり、就労支援に取り組んでいるのか確認し評価したい。残りの2事業は重複するかもしれないが、健康福祉部の6ページ、重層的支援体制整備事業経費、こども未来部の6ページ、要保護児童対策経費について、複合的な課題を抱えている可能性があるヤングケアラーなどの対策は非常に重要な課題であるため、現状の確認と評価を行いたい。

<土岐委員>

健康福祉部の6ページ、重層的支援体制整備事業経費について、来年度から本格的に実施される事業であるため、今は準備期間であるが、これまでにどのような準備を行い、本格実施に向けどのような取組を行っているのか確認したい。

<梅本委員>

市民生活部の2ページ、戸籍住民基本台帳経費について、マイナンバーカードの健康保険証利用については、令和5年6月から全国で不具合によるトラブルが続いている。執行部から、亀岡市では問題ないと説明を受けているが、相談窓口での対応やマイナンバーカードの返納の状況、執行部の体制などについて確認したい。2点目は、市民生活部の7ページ、新火葬場等経費について、現在の進捗状況について確認したい。

<平本委員>

こども未来部の5ページ家庭相談員等設置経費と6ページ要保護児童対策経費の2事業を選定した。大石委員が選定した内容と重複する部分もあるが、本委員会では子育て施策の一つである「亀岡市子どもの権利条例」を制定するにあたり、児童虐待につながるとされる家庭の見守りやフォローアップを重要視しており、長年の懸案事項として検討を重ね提言も行ってきた。そのような中、市は子ども家庭総合支援拠点の整備や家庭相談員を増員されてきたが、ヤングケアラー対策なども含め、より充実した取組を進めるためには、より多くの情報収集やこれまでの取組の分析を行う必要があるため、現状の取組と今後どのように展開していくのか内容を確認し事業を可視化したい。

<西口委員>

こども未来部の6ページ、要保護児童対策経費について、子ども宅食事業は、私から提案した経緯があり、当初の提案内容から現状がどのように変化しているのか確認したい。2点目は、ヤングケアラーについて、子ども宅食と絡

んでくる内容であるが、ヤングケアラーは、学校で発見される機会が多く、こども未来部と教育部などが部局をまたいで重層的に対策に取り組む必要があるため、現状と今後の見通しについて評価したい。

<大塚委員長>

大石委員、平本委員、西口委員から、ヤングケアラー対策及び子ども宅食について詳細な内容を確認するため、要保護児童対策経費を選定してはどうかと提案があったが、この事業を対象事業として選定してもよいか。

—全員了—

<大塚委員長>

大石委員と土岐委員から、令和6年度から本格実施される重層的支援体制整備事業について、本格実施に向け順調に取組が進められているのか確認したいとの提案があったが意見はあるか。

<平本委員>

大石委員、土岐委員と近い考えを持っており、説明を聞く中でこの事業を選定してもよいと考える。家庭相談員等設置経費は取り下げる。

<大塚委員長>

重層的支援体制整備事業経費を選定してもよいか。

—全員了—

<大塚委員長>

休日診療事業特別会計の一般事務費は取り下げる。

<大石委員>

社会的孤立防止対策事業経費は取り下げる。

<大塚委員長>

他に選定すべき項目はあるか。なければ今年度の事務事業評価対象事業は、「重層的支援体制整備事業経費」「要保護児童対策経費」の2つとしてよいか。

—全員了—

<大塚委員長>

決算審査を行うにあたり、現地視察を行うことについて意見はあるか。

<平本委員>

今回選定した事業であれば、資料を見て内容が確認できるため、現地視察は不要であると考え。特に子ども宅食の現場を見に行くことは業務に支障をきたすことから今回は必要ない。

<大塚委員長>

現地視察は行わないということでよいか。

—全員了—

3 その他

<大塚委員長>

次回の日程について、事務局から説明を。

<事務局主任>

事前の勉強会や論点整理には、実際に使用する調書で行うのが望ましい。その調書の提出を待って勉強会や論点整理を行ってはどうか。次回開催日程を決定願いたい。

<大塚委員長>

次回の開催日は、8月24日（木）午前10時から勉強会、9月12日（火）の議案審査後に論点整理を行うこととしてよいか。

—全員了—

散会 ～11：40